

令和8年度 組織目標

様式1

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	-	部長 森川 博邦 理事 野田 英男 次長 會田 省吾 次長 池田 昌司	滋賀の風土を次世代へつなぐため、今後の県土整備の在り方検討や建設産業の魅力向上に向けたチャレンジングな取組の先導	・強靱かつ持続可能な社会インフラの整備を目指して、県土全体の整備や維持管理等の方向性を示す「(仮)滋賀県県土整備ビジョン」の策定に向け、市町と連携・調整を図る。 ・建設産業と滋賀県技術職員の魅力向上につながる取組を戦略的に実施することで、建設産業のイメージアップと技術職員の確保およびエンゲージメントの向上を目指す。		
県土整備部	-	部長 森川 博邦 理事 野田 英男 次長 會田 省吾 次長 池田 昌司	ペーパーレス・ペーパーストックレス化と業務効率化の推進	完全電子決裁率の向上を通じて、ペーパーレス・ペーパーストックレス化と業務効率化を推進する。 完全電子決裁率12% 25%		
県土整備部	監理課	課長 一丸 裕介	建設業者事業年度終了届の電子申請手続きの普及による業務の効率化	建設業者事業年度終了届の電子申請手続きの普及を図り、電子申請件数400件を目指す		
県土整備部	監理課	課長 一丸 裕介	各部局職員の建設工事等に係る入札契約事務能力の向上とミス防止対策の徹底	事務処理に起因する入札手続きのミス(入札の中止・落札決定の取消)前年度比半減(R7:7件 R8:4件)を目指す ・入札契約事務に係る説明会、研修会を年2回以上開催する。 ・令和9年度の導入に向けて、R9.3までに入札公告作成のための入力フォームを作成する。		
県土整備部	技術管理課	課長 松田 篤史	(仮)滋賀県県土整備ビジョンの策定に向けた検討	強靱かつ持続可能な社会インフラの整備を目指して、県土全体の整備や維持管理等の方向性を示す「(仮)滋賀県県土整備ビジョン」の策定に向け、アウトライン(全体構成案)を作成する。		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	技術管理課	課長 松田 篤史	建設産業全体の魅力向上	<p>建設産業と滋賀県技術職員の魅力向上につながる取組を戦略的に実施することで、建設産業のイメージアップと技術職員の確保およびエンゲージメントの向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀けんせつみらいフェスタにおける魅力向上の推進 (フェスタ参加前後の建設産業における良い印象を10%以上向上)</li> <li>・いなずまどぼっく(YouTube)を核とした幅広い世代への魅力発信</li> <li>・職員の誇りとモチベーションを高める作業服リニューアルの着手</li> <li>・魅力ある職場づくりの実現(什器更新やDXの推進)</li> </ul>		
県土整備部	技術管理課	課長 松田 篤史	インフラDXの推進	<p>生産性向上のためにこれまで取り組んできた遠隔臨場やデジタル鉄筋計測やAIの活用や今後導入する許認可システム等のインフラDXの取組をさらに推進するために、県土整備部の中長期的な計画として『(仮)滋賀県インフラDXアクションプラン』を策定する。</p>		
県土整備部	用地事業支援課	課長・田中成実	技術的支援を実施している他部局の土地造成事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津北警察署移転造成工事を今年度内に完了させる。</li> <li>・新設特別支援学校造成工事を今年度内に契約する。</li> <li>・産業開発用地事業(高島、大津、東近江)の基本設計、地質調査、用地測量を上半期中に発注し、事業を推進させる。</li> </ul>		
県土整備部	用地事業支援課	課長・田中成実	用地取得支援による早期の用地取得実現	<p>各土木事務所の用地取得業務を支援し、事業が円滑に進むよう、適期の用地取得完了につなげる。特に次の事業は今年度内に以下の支援成果が得られるよう取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津土木事務所: 比叡辻日吉線補助都市計画街路事業 事業用地(いずれも物件補償を伴う) 5筆(5者)との契約締結</li> <li>・東近江土木事務所: 土山蒲生近江八幡線(鎌掛)道路整備事業 事業用地 63筆(28者)との契約締結</li> <li>・長浜土木事務所: 姉川・高時川補助広域河川改修事業(第3工区) 事業用地 144筆(54者)との契約締結</li> </ul>		
県土整備部	用地事業支援課	課長・田中成実	地籍調査の推進と交付金・補助金事務の効率化	<p>市町と連携して引き続き調査範囲の拡大に向けて検討する。併せて地籍調査認証申請の支援システムを試験導入し、効果の把握と全面展開の検討を行い、事務の効率化を推進する。</p>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	道路整備課	課長 廣田 良源	県土の発展を支える道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備アクションプログラム2023に位置付けた事業の進捗管理を適切に行い、事業を推進する。(開通目標:4km)</li> <li>・開通イベント等(直轄国道、県道)を通じて、道路事業の効果および、建設業全体の魅力発信等のPR活動を行う。</li> </ul>		
県土整備部	道路整備課	課長 廣田 良源	道路の脱炭素化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路分野におけるCO2排出削減を図るため、関係機関と調整を行い、上半期中に「滋賀県道路脱炭素推進計画」を策定する。</li> </ul>		
県土整備部	道路整備課	課長 廣田 良源	防災・減災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「滋賀県無電柱化推進計画」に定めた目標(令和8年度から令和12年度の5か年で4km抜柱完了)の達成のため、無電柱化工事を推進する。(工事完了目標:800m)</li> <li>・防災道の駅「せせらぎの里こうら」の防災機能向上に向け、関連工事を完了させる。</li> </ul>		
県土整備部	道路整備課	課長 廣田 良源	名神名阪連絡道路の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業手法の方針決定に向け、将来の交通流動解析や整備効果分析を実施し、国や三重県などと連携して、名神名阪連絡道路が持つ広域的な機能・役割を整理する。</li> </ul>		
県土整備部	道路保全課	課長 竹脇 健太郎	道路維持管理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長大橋りょうの維持管理に関し、産官学連携(大阪大学、建設技術センター)による新技術の試行導入を行い、効率的な構造物のメンテナンス手法について検討を実施 試行橋梁:1橋</li> <li>・AIを活用しビッグデータ(ドライブレコーダー動画)を解析することにより、舗装路面性状把握を行う新技術の試行導入を行い、道路パトロールの効率化に向けた検討を実施</li> </ul>		
県土整備部	道路保全課	課長 竹脇 健太郎	安全・安心な地域の暮らしを支える歩道の計画的整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備アクションプログラム2023(AP2023)に位置付けた歩道整備箇所等の適切な進捗管理による事業推進 歩道開通延長:3km うち通学路:1km</li> </ul>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	道路保全課	課長 竹脇 健太郎	地域を豊かにする自転車活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常や観光において自転車が移動の選択肢の一つとなるなど、滋賀県の自転車文化の醸成に向け、「第3次滋賀県自転車活用推進計画」の策定を行う。</li> <li>・交通量の多い湖岸道路等で自転車通行帯を整備し、自転車と車の双方が安全・安心に通行できる道路環境整備を推進</li> <li>自転車通行帯整備延長：4km(累計41km)</li> </ul>		
県土整備部	道路保全課	課長 竹脇 健太郎	県民の交通安全意識の高揚と交通事故防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の交通事故死者数35人以下、重傷者数290人以下に抑止することを目指し、以下の取り組みを実施する。</li> <li>・各推進機関・団体とともに滋賀県交通安全県民総ぐるみ運動に取り組み、交通死亡事故抑止対策を推進(街頭啓発：月1回以上、年間30回)</li> <li>・交通安全対策の実施および事例集の作成</li> </ul>		
県土整備部	道路保全課	課長 竹脇 健太郎	道路管理のDX推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『道路・河川管理業務PT』と連携し、効率的な道路管理の運用を図るため、既存台帳の電子化に向けた実施方針を検討する。</li> <li>・ロードネット滋賀において提供している道路カメラ情報、積雪・凍結センサー情報について、『滋賀県防災アプリ』により提供を開始する。</li> <li>道路カメラ：107箇所(6月まで)</li> <li>凍結センサー：35箇所、積雪センサー：38箇所(12月まで)</li> </ul>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	流域政策局	局長 沼田 淳	いのちと暮らしを守る流域治水の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備完了区間の延長 2.4km（河川整備5か年プラン 第3期）</li> <li>・グリーンインフラの視点を取り入れた河道の適正な維持管理：竹木伐開・堆積土砂撤去に取り組む箇所数 300箇所</li> <li>・土砂災害防止施設整備完了 3箇所</li> </ul>		
			水害・土砂災害に強い地域づくりの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難困難者利用施設における人命被害防止策の制度化（流域治水条例の改正）</li> <li>・土砂災害警戒区域等の指定 85区域</li> </ul>		
			丹生ダム中止に伴う地域整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和9年度以降の中河内木之本線の整備に係る国との協定締結</li> <li>・北海道発生土受入地の活用整備方針の作成</li> </ul>		
			大津港の活性化・賑わい創出の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携の下で大津港活性化・再整備を進めるための実施計画の策定とみなとオアシスの登録</li> </ul>		
県土整備部	流域政策局	室長 南野 芳広	琵琶湖等河川の適正管理と大津港の活性化・賑わい創出の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者不明橋の解消に向けた安全度点検要領の策定と取組み着手</li> <li>・官民連携の下で大津港活性化・再整備を進めるための実施計画の策定とみなとオアシスの登録</li> </ul>		
県土整備部	流域政策局	副局長兼室長 加藤 晶久	いのちと暮らしを守る河川・港湾整備と河道の適正な維持管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備完了区間の延長 2.4km（河川整備5か年プラン 第3期）</li> <li>・長浜港耐震化整備の整備率 60% 65%</li> <li>・グリーンインフラの視点を取り入れた河道の適正な維持管理：竹木伐開・堆積土砂撤去に取り組む箇所数 300箇所</li> <li>・河川地形変動模型を活用した出前講座 3回</li> </ul>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
県土整備部	流域政策局	室長 井元 浩之	水害に強い地域づくりの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難困難者利用施設における人命被害防止策の制度化（流域治水条例の改正）</li> <li>・浸水警戒区域の指定 3地区</li> <li>・避難計画の策定支援 5地区</li> <li>・滋賀県防災アプリの普及促進 ダウンロード件数 3万件</li> </ul>		
県土整備部	流域政策局	室長 新屋敷 保	丹生ダム中止に伴う地域整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和9年度以降の中河内木之本線の整備に係る国との協定締結</li> <li>・北海道発生土受入地の活用整備方針の作成</li> </ul>		
			ダム管理設備の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石田川ダムおよび宇曽川ダムの設備更新工事を実施する。 石田川ダム:テレメータ観測警報設備 宇曽川ダム:ダム管理用制御処理設備</li> <li>・県管理治水ダム2ダム(青土ダム、姉川ダム)において、在来型照明をLED照明へと改修を行う。</li> </ul>		
県土整備部	流域政策局	室長 尾崎 康人	土石流やがけ崩れからいのちと暮らしを守るためのハード・ソフト対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちと暮らしや地域のなりわいを守る砂防堰堤や法面工の整備推進。土砂災害防止施設整備完了 3箇所</li> <li>・土砂災害警戒区域等の指定 85区域</li> <li>・AIを活用し、会議の打合わせ資料や協議録を作成することで、業務の効率化を図る。(作業時間削減 20時間以上)</li> </ul>		